

やさしい中学地理 | 3-1 前半(p284~p292)チェック問題 氏名

- (1) 農林水産業は第[①] 次産業であり、工業は第[②] 次産業、商業は第[③] 次産業である。
- (2) 第二次世界大戦後、食生活が[① 和風化 / 洋風化]したことにより、米が[② 足りない / 余る]ようになったので、政府は稲作農家に米以外の作物を作る[③] をすすめた。これを[④] 政策]という。
- (3) 日本の米の生産量ランキングは、1位[①] 、2位[②] 、3位[③] であり、
[④] 地方]や[⑤] でさかんである。
- (4) 果物の栽培に適した土地は[① 三角州 / 扇状地]である。リンゴの生産量ランキングは、1位[②] 、
2位[③] である。さくらんぼは、1位[④] である。ぶどうは、1位[⑤] 、2位[⑥] である。
ももは、1位[⑦] 、2位[⑧] である。日本なしは、1位[⑨] 、2位[⑩] である。
うめは、1位[⑪] である。かきは、1位[⑫] である。みかんは、1位[⑬] 、2位[⑭] 、3位[⑮] である。
パインアップルは[⑯] で栽培がさかんである。

(1)① 1次	(1)② 2次	(1)③ 3次
(2)① 洋風化	(2)② 余る	(2)③ 転作
(2)④ 減反政策	(3)① 新潟県	(3)② 北海道
(3)③ 秋田県	(3)④ 東北地方	(3)⑤ 北陸
(4)① 扇状地	(4)② 青森県	(4)③ 長野県
(4)④ 山形県	(4)⑤ 山梨県	(4)⑥ 長野県
(4)⑦ 山梨県	(4)⑧ 福島県	(4)⑨ 千葉県
(4)⑩ 茨城県	(4)⑪ 和歌山県	(4)⑫ 和歌山県
(4)⑬ 和歌山県	(4)⑭ 静岡県	(4)⑮ 愛媛県
(4)⑯ 沖縄県		

やさしい中学地理 13-1 後半(p292~p302)チェック問題 氏名

- (1) 大都市の近くで、大消費地向けに野菜や花などをつくる農業を[① 農業]という。野菜の産出額ランキングは、1位[②]、2位[③]、3位[④]、4位[⑤]、5位[⑥]である。
- (2) 長野県や群馬県のように、夏でも涼しい気候をいかし、他の産地よりも遅い時期に農産物を栽培し出荷する方法を[① 栽培]という。逆に宮崎県や高知県のように、冬でも温かい気候をいかし、他の産地よりも早い時期に農産物を栽培し出荷する方法を[② 栽培]という。また宮崎や高知のように、温室やビニールハウスなどの施設を利用して、野菜や果物を栽培する農業を、[③ 農業]という。
- (3) 北海道の[① 台地]や[② 平野]では、乳牛を飼育し乳製品を生産する[③]がさかんである。鹿児島県や宮崎県では、水分を保ちにくい[④ 台地]が広がり、[⑤ や]、肉用にわとりの飼育がさかんである。
- (4) 日本の農業の課題は、外国産の農作物に比べ、国産のものは価格が[① 高い / 安い]ことと、食料自給率が[② 高い / 低い]ことである。

(1)① 近郊農業	(1)② 北海道	(1)③ 茨城県
(1)④ 千葉県	(1)⑤ 熊本県	(1)⑥ 愛知県
(2)① 抑制栽培	(2)② 促成栽培	(2)③ 施設園芸農業
(3)① 根釧台地	(3)② 十勝平野	(3)③ 酪農
(3)④ シラス台地	(3)⑤ 肉牛や豚	(4)① 高い
(4)② 低い		